日経・FT感染症会議
感染症対策オンラインセミナー
「経済活動と感染症対策の両立に向けて」

「今、求められる感染症時代のBCP」

本資料の内容は、2022年７月22日現在の知見・状況を前提としています。

2022年８月４日

ミネルヴァベリタス株式会社　顧問
信州大学　特任教授
本田 茂樹

本日、お伝えしたいこと

１．アンケート調査でわかったこと

２．感染症BCPを策定するあたってのポイント

（１）BCPって、何？

～「守る」と「代替する」～

（２）感染症BCPのポイント

～代替要員を減らさない、そして増やす～

３．感染症BCPの重要性

～リスクマネジメントの観点から～

１．アンケート調査でわかったこと

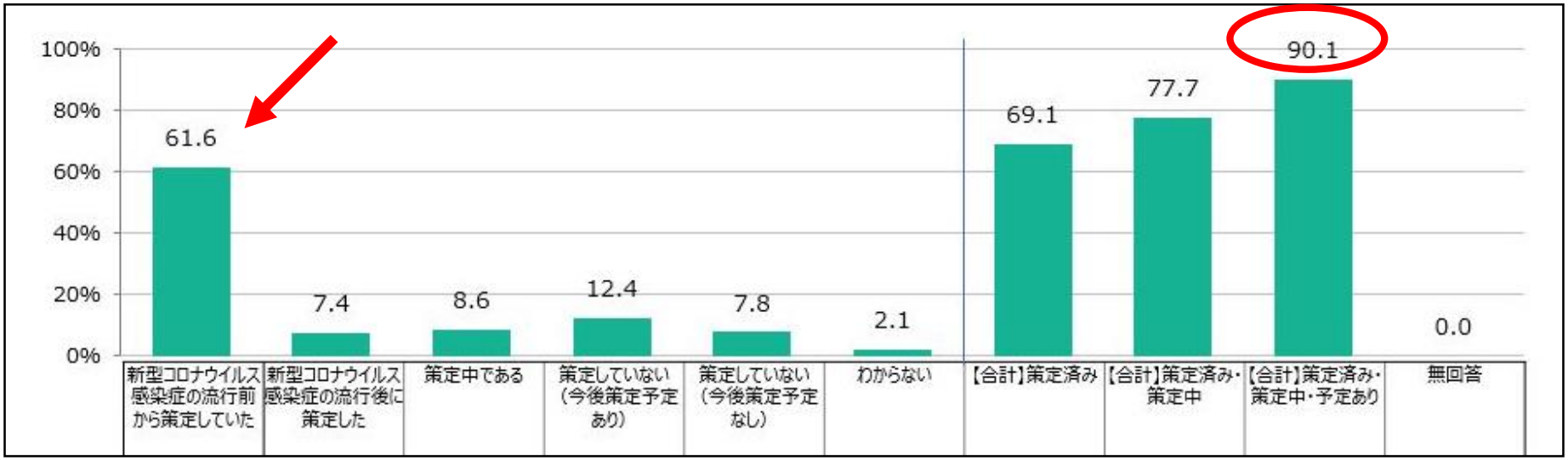
～調査主体：日本経済新聞社、調査対象：日経ID会員～

（調査期間：2022/3/17～3/22）

流行前からBCPを策定していた企業が60%超

BCPを策定していますか？（ひとつだけ）

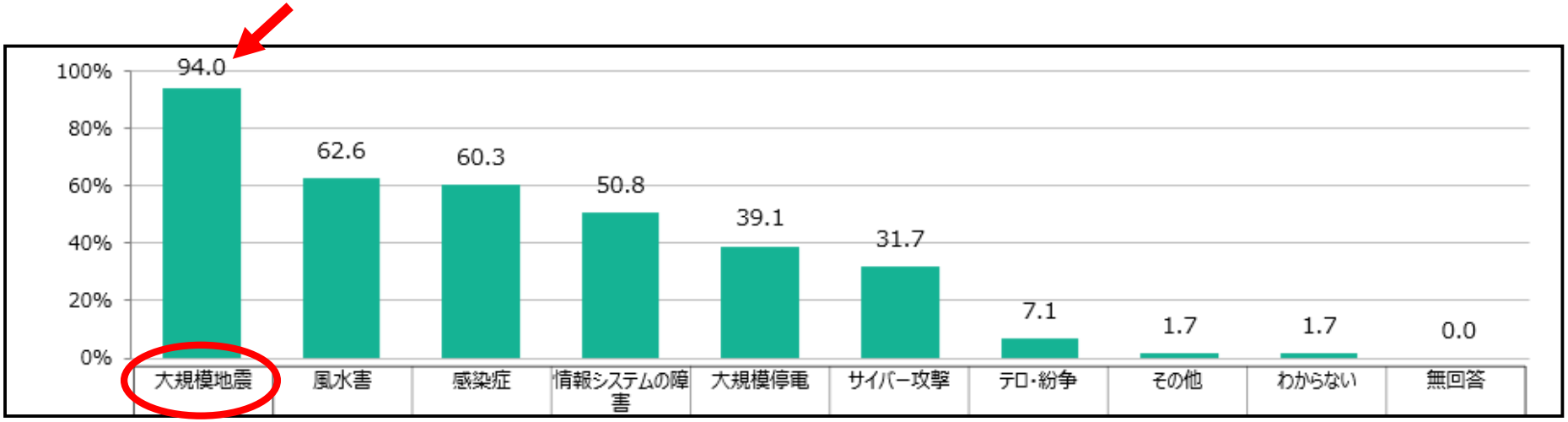
従業員別のBCP策定率	
50～100人	43.1%
100人～999人	58.4%
1,000人以上	77.3%



BCPの対象とした事象は大規模地震がトップ

BCPで策定済み、もしくは策定中の事象は？（いくつでも）

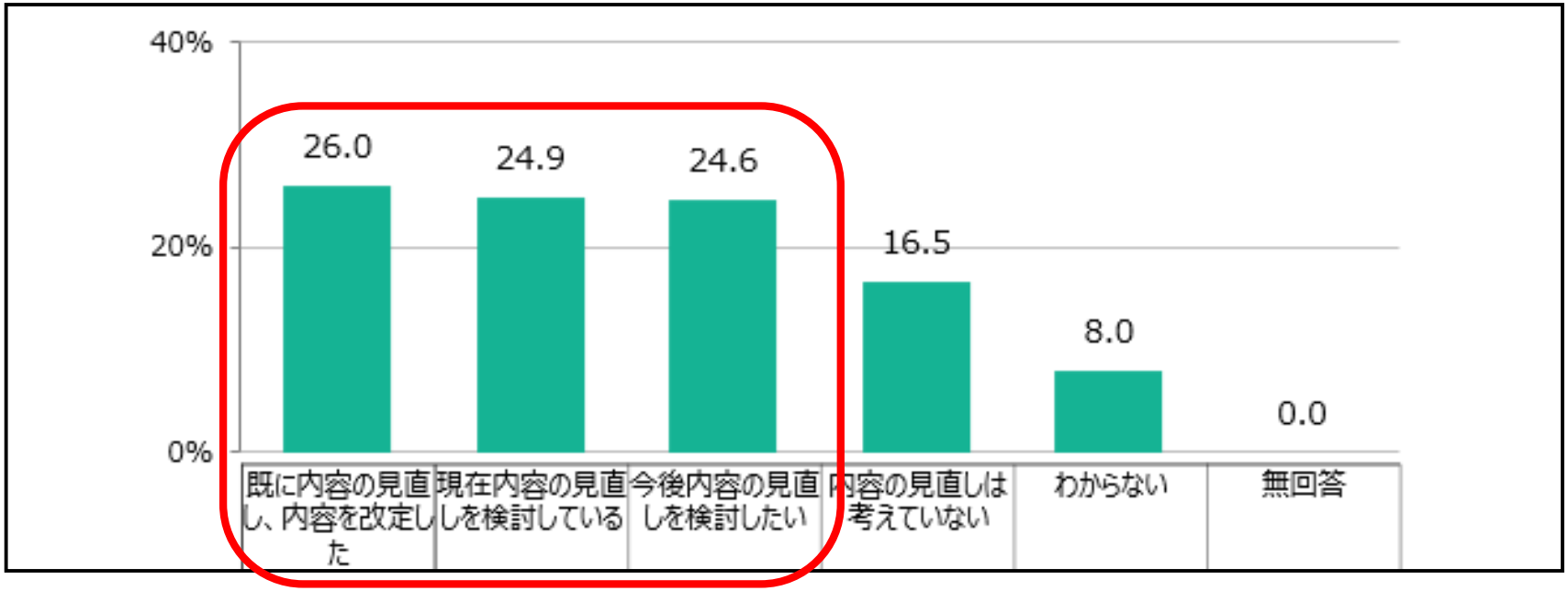
策定済み/策定中の事象	
大規模地震	94.0%
風水害	62.6%
感染症	60.3%



四分の三の企業がBCP見直しに前向き

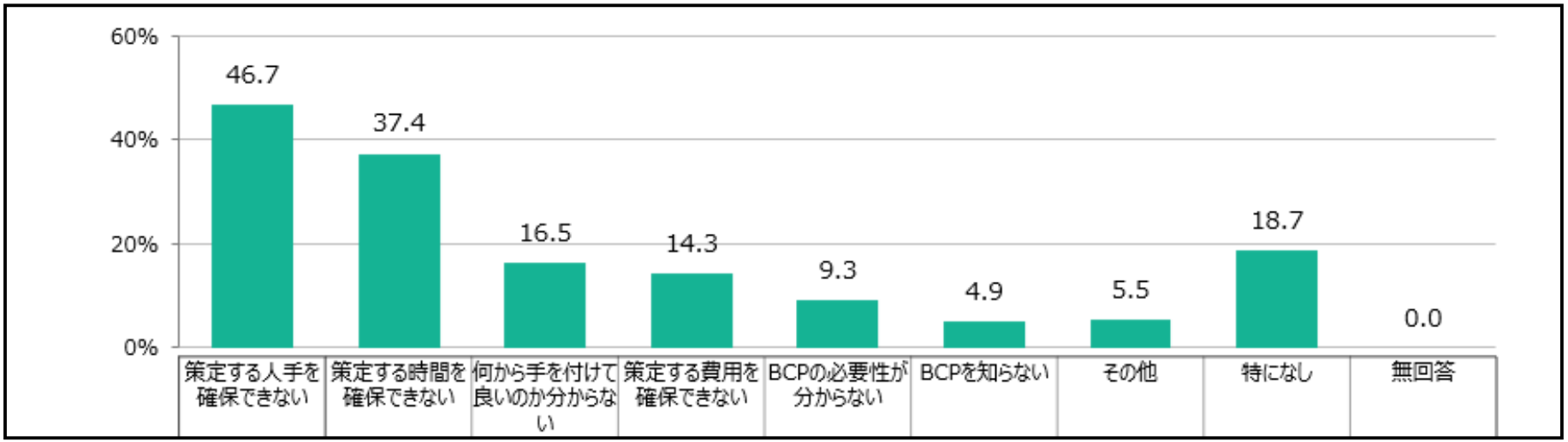
新型コロナの流行を受け、BCPを見直すか？（ひとつだけ）

BCPの内容見直しの意向	
既に**見直し、改定した**	26.0%
見直しを**検討している**	24.9%
見直しを**検討したい**	24.6%



BCPを策定していない理由はいろいろ

BCPを策定していない理由は？（いくつでも）



人手を確保できない、時間を確保できない。。。

着眼大局、着手小局

２．感染症BCPを策定するにあたってのポイント

（１）BCPって、何？

～「守る」と「代替する」～

経営資源を「守る」、そして「代替する」

ＢＣＰ： Business Continuity Plan
（事業継続計画）

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても：

- 重要な事業を中断させない　または
- 中断しても可能な限り短い時間で復旧させる

ための方針、体制、手順等を示した計画のことを事業継続計画（ＢＣＰ）と呼ぶ

（「事業継続ガイドライン」（内閣府、令和3年4月改定）を基に作成）

「守る」と「代替する」の二段構え

重要な事業を中断させないために

（１）経営資源を**守る**

中断しても
可能な限り短い時間で復旧させるために

（２）経営資源が足りない場合は**代替する**

感染症BCPでは、長期戦を覚悟する

- **感染症：段階的・長期的な危機事象**
  - 主な被害は人への健康被害（被害ゼロの経営資源の方が多い）
  - 従業員を守り切ることが重要
  - 流行後、まん延後も、「守り」は続く
  - 流行後、まん延後に最悪を迎えることもある

「守る」と「代替する」は車の両輪

どちらかに偏ると

残念なBCPになる

（２） 感染症BCPのポイント

～代替要員を減らさない、そして増やす～

感染症BCP策定のポイント

（守る）

感染疑い事例・感染者を減らすとともに、職場における感染者の連鎖を断つ

最終的には、出社できる従業員で事業を継続する

（代替する）

代替要員の数を減らさない、そして増やす

代替要員を減らさない（１）

- スプリット・チーム制（班交代制）
  - 事業者の意思決定を行うなど、代替要員が限られている者の：
    - **交替勤務（早番と遅番）**
    - **別の場所（例えば、本社とサテライト）での勤務**
  - 感染する機会を共有しないという観点から**テレワーク**が有効な手段であることは明白

代替要員を減らさない（２）

●劇場のオペレーション

- ●現在、1日3部制（コロナ禍前は昼夜2部制）
- ●各部の時間を短くし、終わるごとに専門業者が場内消毒
- ●客も役者も、各部が終わるごとに入れ替え（前後の部の役者が接触しないように完全入れ替え制）
- ●先輩役者への楽屋挨拶なし
- ●「顔寄せ」（公演前に役者・スタッフが顔を揃える）もなし

●どこかの部で感染者が出た場合でも他の部は興行継続

代替要員を増やす

- 出社した従業員が、継続するべき業務をこなせるとは限らない
- **クロストレーニング**
  - 従業員が複数の重要業務を実施できるようにしておき、欠勤者が出た場合に代替要員とする
- 業務の「見える化」と「マニュアル化」が必須
- 企業として取り組むことが肝要

３．感染症BCPの重要性

～リスクマネジメントの観点から～

認識していないことには備えられない

- **今後も、未知の感染症の流行はあり得る**
  - スペインかぜ、アジアかぜ、香港かぜ、SARS、新型インフルエンザ（A/H1N1）、新型コロナウイルス感染症、**そして次は？**

- **複合災害への備えは必須**
  - 感染症の流行が続く中で、大きな地震・水害が発生すると、それは複合災害となることから、防災備蓄を含めて、対策の見直しが急務である

知識のワクチンの重要性

- 新型コロナウイルス感染症以外にも感染症はある
  - 季節性インフルエンザ、風疹、麻しん　など
  - 海外出張者は、狂犬病、デング熱　など
  - ワクチンで防げる感染症もある（本人の意思で接種）
- リスクコミュニケーションが極めて重要
  - 感染症に関する従業員教育：継続は力なり
  - 正しい情報と危機感の共有
  - 平常時からの準備は裏切らない

ご清聴
ありがとう
ございました